

「ぼくたちの地球を守ろう」 第16回アジアこども会議



海外と日本の受賞者を混合した4チームで行われた話し合い

- ◆日時 : 2009年7月30日(木) 15時00分～17時30分
- ◆会場 : 江戸一万来館2F(大広間) 東京都足立区綾瀬4-10-6
- ◆会議参加者 : コンクール受賞者(国内:16名、海外:8名 計24名)
- ◆内容 : 環境に関するテーマについてグループごとに話し合い、その成果を発表し、最後に「こどもアジェンダ21」宣言書としてまとめ、環境大臣に手渡す
- ◆会議のテーマ : 「ぼくたちの地球を守るために必要なこと」
- ◆司会進行 : インパクトジャパン株式会社 吉村啓邦氏
- ◆プログラム :

主催者代表挨拶 <田中豊蔵 地球こどもクラブ常務理事>

ディスカッション

- ①各国の環境問題
- ②環境問題の原因とクリーンエネルギーの必要性
 - ・ 風力発電機製作
- ③環境のためにできること

「こどもアジェンダ21」宣言書とりまとめ及び記入

子供たちの代表より「こどもアジェンダ21」宣言書を林京子 環境省環境教育推進室 室長補佐(環境大臣代理)に手渡す

閉会



【司会進行】

インパクトジャパン株式会社 吉村啓邦氏
人材コンサルティング/セミナー講師
豊かな自然環境を活かしたアウトドアトレーニングをルーツにさまざまなプログラムを展開している。

①各国の環境問題

海に沈みつつあるツバル諸島や20年前と現在のヒマラヤ、病気にかかった稲の写真を見てもらい、世界的に多様な環境問題が発生していることを理解してもらった。

それぞれの国や住んでいる地域ではどのような環境問題が発生しているかを考えてもらい、発表し、共有した。

その中で、「森林伐採によって動物が絶滅する」など、一つの問題がまた他の問題を発生させることが理解された。またインドでは電力の供給が安定せず、生活面に不備があること、しかし安定した供給は環境破壊を促進する恐れがあることのシレンマが取り上げられた。



②環境問題の原因とグリーンエネルギーの必要性

・風力発電機製作

身の周りの環境問題を考えた後、昨日電力館で学んできたことを思い出し、環境問題の背景と温暖化をはじめとする環境問題発生の原因を復習した。

そこで、誰もが豊かな暮らしをするためには、今までとは異なるクリーンなエネルギーが必要であることを学んだ上で、グリーンエネルギーを理解する手掛かりとして実際に「風力発電機」を製作した。



製作した風力発電機に、扇風機の風力を最大にして蓄電しても、小さな模型自動車がやっと30秒走れる程度だった。

しかし、子供たちは、自分たちの手で自然から得られるエネルギーを作り出せたことで、大変満足そうだった。

③環境のためにできること

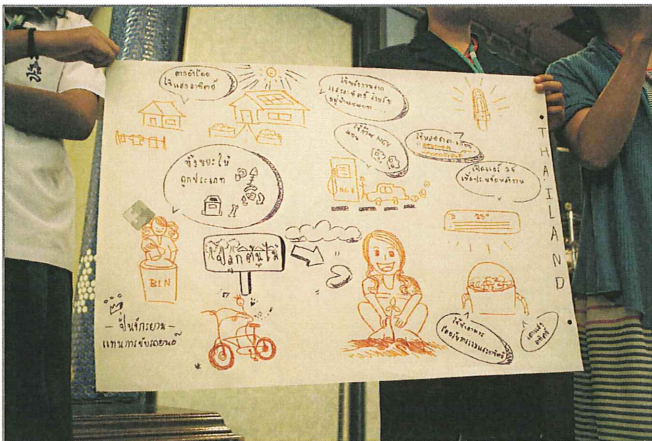
◆マレーシア×日本チーム



【身近にできるエコについて考えた】

- 車はできるだけ乗らず、自転車を利用したり、歩く
- 省エネの電化商品を買う
- リサイクルをする
- 太陽光発電をする
- 有機野菜を食べる

◆タイ×日本チーム



【現在→未来について考えた】

- 車に乗ってCO₂を出す→自転車を利用
- レジ袋→エコバッグの利用
- ハミガキの時、水を出しっぱなしにしない
- 節約型の電球を使う

◆韓国×日本チーム



- 余計なゴミを出さない
- レジ袋を使わずにエコバッグを持つ
- 技術革新（排気ガスを少なくする）

◆インド×日本チーム



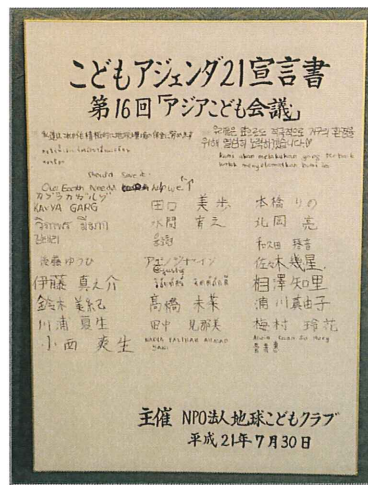
【マイエコルール】

- ・ゲームを1時間したらプロペラ付自転車をこいで風力発電する
- ・TVを1時間見たら木を1本植える

私たちはできる1・2・3!
YES WE CAN!!

「こどもアジェンダ21」宣言

【私たちは、これからも積極的に地球環境の保全に努めます】



受賞者全員の署名がされた宣言書にインド・韓国・マレーシア・タイ・日本の代表者が各国の言語で、宣言を記入し、林京子環境省環境教育推進室室長補佐に手渡した。